先端医療から福祉まで「生きる」を応援します

Keiju Medical Center public relations magazine

Vol. 83

2014.7

スペシャル対談
「2015年春、北陸新幹線の開業で、地域と医療はどう変わる?」
金沢商工会議所 深山 林
社会医療法人財団董仙会 神里・正博
理事長 神里・正博
恵寿金沢病院キックオフ座談会
「恵寿金沢病院がめざす医療とイメージ」
上田 幹夫 高堂 祥子 森田 均 前多 亜佐子

NTT西日本金沢病院は7月1日、 恵寿金沢病院に生まれ変わりました。 地域に必要とされる病院を目指して 日々の診療に邁進していきたいと思います。 これからも恵寿金沢病院をよろしくお願い致します。



病院概要

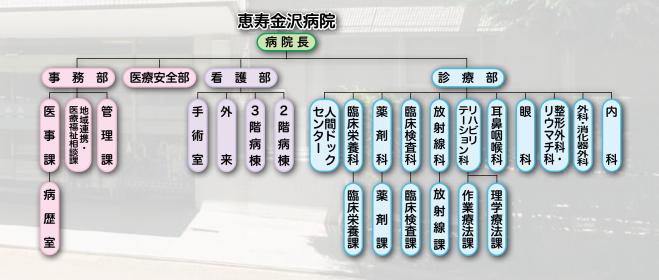
加賀百万石の城下町として知られる「金沢」中心街の尾張町界隈の一画に位置し、日本三名園の兼六園も近く、また友禅流しで有名な浅野川と、周辺は閑静な環境にあります。

名 称 恵寿金沢病院

病院長 上田 幹夫

所在地 〒920-0910 金沢市下新町 6番 26号

指 定 等	保険医療機関/救急指定/労災指定/労災二次検診指定/慢性特定疾患研究医療機関/ 生活保護法指定/結核予防法指定
許可病床数	89床(一般病棟)
標榜科目	内科/血液内科/呼吸器内科/外科/胃腸・消化器外科/整形外科/眼科/耳鼻咽喉科/ リウマチ科/リハビリテーション科
看 護 体 制	看護7:1 日中夜間平均して入院患者様7人に対し看護師1名以上 看護単位数 2単位
室料差額病床	17床(一般個室 16室 特別室 1室)
施設基準	一般病棟入院基本料(7対1)、診療録管理体制加算、退院調整加算、無菌治療室管理加算1・2、がん性疼痛緩和指導管理料、外来リハビリテーション診察料1、薬剤管理指導料、検体検査管理加算(I)、時間内歩行試験、コンタクトレンズ検査料1、CT撮影及びMRI撮影、外来化学療法加算1、無菌製剤処理料、脳血管疾患リハビリテーション料(I)、運動器リハビリテーション料(I)、呼吸器リハビリテーション料(I)、がん患者リハビリテーション料、医科点数表第2章第10部手術の通則5及び6に掲げる手術、輸血管理料(I)、輸血適正使用加算、入院時食事療養(I)、患者サポート体制充実加算、病棟薬剤業務実施加算
その他	■厚生労働省が推進する医薬分業の趣旨に沿って、外来患者を対象に院外処方を実施●人間ドック、健康相談、金沢市すこやか検診担当医
主要設備	●手術室(2室) ●回復室(4床) ●無菌治療室(11室) ●デイルーム(2ヵ所)●聴力検査室(13㎡) ●リハビリテーション室(101㎡)
主要医療機器	●マルチスライスCT●ポータブルX線撮影装置●X線テレビ撮影装置●マンモグラフィー●骨密度測定装置●ABI●エコー●心エコー●血液成分分離装置
認定研修施設	●日本血液学会認定研修施設●日本老年医学会認定研修施設●日本眼科学会認定研修施設
土 地 面 積	5438m²
建物面積	4710m²



2015年春、北陸新幹線の開業で、 地域と医療はどう変わる?

いよいよ 2015 年春の開業に向けて、北陸新幹線がカウントダウンに入っています。金沢 開業で石川県はどう変わるのでしょうか。地域経済にもたらす影響や、医療や介護、福祉分野 にも恩恵はあるのか、金沢商工会議所の深山彬会頭と神野正博理事長が語り合いました。

広域的な視野で開業効果を促進

神野●先日、長野県の佐久平に行ってきました。長野新幹線の長野駅から二つ目の駅です。 ここが今、湧いています。佐久医療センター という大きな病院が3月にできて、近辺には ショッピングセンターもあって軽井沢にも近 い。東京から移ってくる人もいて、新幹線の 一つの効果だと言われています。北陸も開業 が迫っていますが会頭はどう見ておられますか?

深山●期待する人は多いですし、実際に観光やビジネスなどの交流人口は増えると思います。ただ、メリットもあれば、デメリット的なものもあります。金沢商工会議所会頭という立場からすれば、金沢にまず人が来てもらわないと困りますが、石川県は大きく三つのエリアに分けられますから、一泊目は金沢で、二泊目以降はオプションで能登か、加賀へと



いうようにやはり広域的に考えた方がいい。 福井県は開業がしばらく先になりますから、 北陸三県を含めた広域的な連合で考えていく 必要があるでしょう。

神野●北陸新幹線の金沢開業と同時に、能越 道も七尾まで開通します。そうなると、新高 岡から能越で七尾に入って、そこから金沢に 回るというルートも開けます。

深山●新高岡に新幹線の本数がそれなりに停まることになれば、新高岡から能越経由で和 倉温泉、輪島、奥能登へ回るコースが距離的 に近い。私も利用は増えるとみています。

神野●東海北陸道の起点は、愛知県の尾張一宮で終点は石川県七尾。尾張一宮から東海北陸道に乗って高速降りたら七尾。それは地元、七尾には大きな魅力です。

深山●高岡は間違いなくそう期待しています。富山県の呉西地区は、加賀藩の影響を受けています。文化、伝統、銅器産業などもあって呉西地区と能登を経由して金沢、加賀へ向かう。そのルートも新幹線の本数次第で大き

な魅力です。

団塊世代で定住人口増を図る

神野●4月に消費税が上がって景気は減速するとみられていましたが、意外にそうでもないと皆さんおっしゃっています。このままいけば来年は10%ですが、新幹線の開業で北陸はうまくいくでしょうか?

深山●日銀の金沢支店長の話や、いろんなデータを見ると今のところ好調です。4月の落ち込みは一時的にありましたが、このまま推移していく可能性は十分で、私たちも期待しています。消費税は年末までの景況感を見て政府が判断されることですが、10%になってもいけるんじゃないかと、成長戦略で予算を組もうとしています。

神野●消費税のアップ分は社会保障に回るわけですから、社会保障にお金が回れば医療、 介護、福祉分野は基本的にウェルカムです。 新幹線が開業して交流人口は増えると思いま





すが、問題は定住人口を増やせるかです。経 済界はどう見ておられますか?

深山●金沢商工会議所でもいろいろ考えていますが、定住人口は一度に大量に増えるわけではありません。団塊の世代が今、65歳~67、8歳になられます。金沢から県外に出て首都圏で暮らしていたけど、金沢へ戻りたいというお話を意外と多く聞きます。金沢は四季がある。それで金沢でマンションや、セカンドハウスを周辺で探したい人は案外多いですね。

神野●今、2025年問題が取りざたされていて、団塊の世代が2025年に75歳を迎えます。 国がいろんな政策に取り組んでいますが、2025から10を引くと2015。まさに来年が2015年ですが、その年までに団塊世代は65歳を迎えます。つまり、65歳から75歳までの10年間は、新たなシルバービジネスの勃興期でしょうし、また老後をどこで、どう過ごすか大きな動きになると思います。

深山●定住人口の増加は県も力を入れていて、 東京・銀座にアンテナショップを開き、定住 地を石川県にする勧誘を行っています。石川 の人口減少を意識して少しでも定住人口を増 やして行こうという強い意志が感じられます。

中心市街地に高齢者が集まる

神野●私はよく言うんですが、温泉があって、

空気がきれいで、魚や食べ物がおいしくて風 光明媚なところは日本中探したらどこにでも ある。だけど、そういう場所で急な心筋梗塞 やくも膜下出血を起こしても、外科手術が行 える病院はなかなかありません。外から人が 入ってくるには、やはり医療や介護がしっか り整っていないと難しい。七尾には、医療も 介護もきちんと整っています。定住人口を増 やせる環境は十分、あると思います。

深山 今のご指摘は重要だと思います。私も 県の公安委員をやっていて、能登の人口減少 は深刻に受け止めています。能登地域は、む かしから大家族で暮らしていた家が多い。だ けど、核家族化で今は夫婦二人か、独居世帯 が多くなっています。そういう家で困るのは 医療や介護、食事です。食事を買いにスーパー やコンビニに行く。そのために車を使う。す ると高齢で動きが鈍くなっているせいかどう か、車の事故が増えている。高齢者が被害者 または加害者になる機会が多く、対策に頭を 抱えています。

神野●七尾もそうですが、経済の高度成長や 核家族化とともに、街が外に向かって大きく なった印象があります。だから車が必要に なった。今は逆にコンパクトシティといって 中心市街地にいろんな機能が集中するように なっています。お年寄りが、車がなくても生 活しやすいまちづくりはこれから必要だと思



います。七尾も中心市街地 が空いていて、免許を返上 した高齢者が、中心市街地 に集まるような施策も求め られています。

深山●能登の中島より以北は、人口を全部集めても 7万5000人くらい。極端 に人口減少が進んでいます。地域の人たちは本来な ら、先生がおっしゃるコン



パクトシティに集まればいいですが、土地に対する思いとか、ふるさと意識があって、とくに高齢者はなかなか合理性のあるものに心を動かさない傾向にある。だけど、仮に行政が7万5000人を対象に奥能登に定住圏構想を掲げても、そんなに一気に人は増えないと私は思います。地勢的には七尾地区に病院や生活のためのいろんな機能が集まるようになって欲しい。奥能登の人は、珠洲や穴水や輪島に集まるようにするようにしていかないと、行政的には大変なお金がかかると思います。

恵寿金沢病院は、がんに強い、 地域密着型病院

神野●膨張した街が少し小さくなる、コンパクトになる傾向は、今後さらに進む気がします。それもあって、実は今回、私たちはNTT 西日本金沢病院の事業譲渡に名乗り上げました。金沢病院のある周辺は尾張町界隈のまちなかで、浅野川沿いには主計町があって古き良き金沢の中心市街地。この周辺は、たとえば風邪をこじらせて入院するとか、ちょっとした病気になって入院できる地域密着型の病院が少ない。最近は、マンションが近くにできたり、武蔵や近江町にも近いので、定住人口として外から来られた人も安心でき

る地域です。

深山●金沢には金沢大学附属病院、金沢医科 大学病院という二つの大学病院があります が、それは先進的な医療とか、緊急性の高い 病気のときに行くイメージがありますから、 第一次診療のあとに二次診療として紹介して いただけるところは必要ですね。

神野●そうなんです。金沢病院は、むかしから「血液がん」に強い病院で、そのあたりの治療は金沢大学附属病院と強い連携を維持しています。それを活かしながら、今後は地域の密着型病院としての役割を果たしていきたい。金沢市内に定住していただく人が増えれば、そういう人たちの病院という道も開けてくると考えています。

深山●地域が高齢化して、近くに安心できる病院が少ない現状はおっしゃる通りです。旧・NTT病院はネームバリューがあって、むかしからの人はご存知です。地域密着型の一般を対象にした病院とわかれば高齢者は間違いなく来ますし、ニーズはあります。ただし、恵寿金沢病院という新しい名前に変わると、知名度がまだ低いので、大いに宣伝して、アピールしてください。

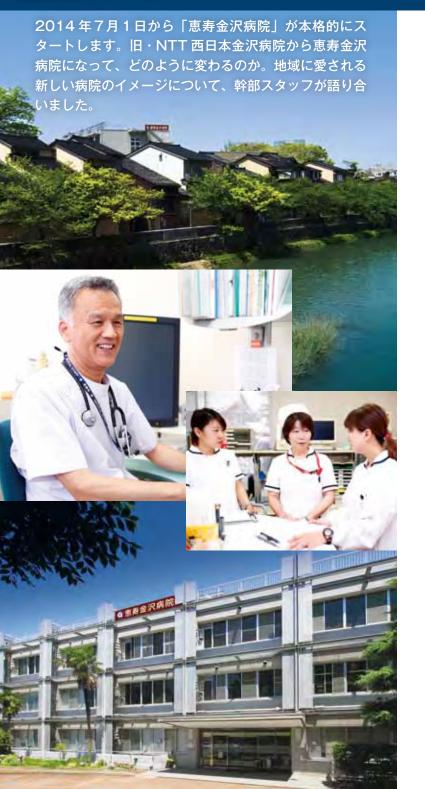
神野●ありがとうございます。手術やリハビ リができて、抗がん剤の治療ができる、特徴 のある病院として頑張っていきます。今後と もよろしくご指導ください。



恵寿金沢病院キックオフ座談会

_{テーマ} 恵寿金沢病院がめざす 医療とイメージ

伝統と専門医療を引き継ぎ、地域をもっともっと大切に。



地域の病院として 認知度を上げる

Q1: 恵寿金沢病院に生まれ変わることについて、どのように受け止めていますか?

上田病院長(以下、上田)●私は2014年4月から病院長として着任しました。それまで主に、金沢大学附属病院や石川県立中央病院などで血液疾患に携わってきましたが、この病院に抱いていたイメージは、石川県における血液疾患の拠点病院であるという認識です。金沢大学附属病院や石川県立中央病院と連携して、血液病治療センターの役割を果たしてきたと言っても過言ではありません。恵寿金沢病院でもそのニーズは今後も増えるでしょうし、医療的にはその部分をやはり伸ばしていくべきだと考えています。

高堂看護部長(以下、高堂)●私はこの病院で36年勤めてきました。病院が新しくなることで真っ先に感じたのは、地域の患者さんが「病院がすべて変わってしまうのではないか」と不安に思われていることです。以前からの患者さんに、安心してここの医療と看護を受けていただける、医師も私たち看護スタッフも変わらずに、これまでと同じように



[病院長] 上田 幹夫

やらせていただ けることをまず はメッセージと して伝えたいで

す。その上で、董仙会の新しい知恵やノウハ ウ、コンセプトを注入していただいてもっと 成長したいと思っています。

森田事務長(以下、森田)●近隣の患者さん に気軽に足を運んでいただける病院づくりが 大切だと感じています。それには、これまで 以上に地域に根差した病院であることを知っ ていただくこと。董仙会は、七尾や能登地域 では有名ですけど、金沢には大きな病院がた くさんあるので認知度を上げるのは少し大変 だと思います。金沢ではゼロからのスタート のつもりで、広報活動や事務長の立場からい ろいろアピールしていきたいと思います。

前多事務次長(以下、前多)●七尾から5月 に来て間もないのですが、最初にここにきて 患者さんから「ここの病院は先生も看護師さ んもとてもやさしいんです」と声をかけられ ました。患者さんと同じ目線で見ると、スタッ フの表情が柔らかくて、とても親しみやすい 印象を受けます。あいさつや声掛けが自然に できていて、これを病院の強みとしてアピー ルすべきだと感じています。

専門医療と予防、健診に強い

Q2:新しい病院になることで、どんなところ が変わったのでしょうか?

上田●この病院はやさしいというお話があり ましたが、環境の良さと無関係ではないと感 じます。浅野川のほとりや主計町あたりを歩

くととても心地がいい。文化的な香りがして、 ゆるやかな時間が流れています。新病院に なっても変わりません。それにプラスして、 董仙会のノウハウが新たに加わります。グ ループの中核である恵寿総合病院は、急性期 病院としていろんな診療科がありますし、専 門医療を展開しています。高齢化に対応した 医療や経験も豊富にあります。PET-CT など 先進的な医療設備も整っています。新病院は、 従来までの血液疾患としての専門性の高さに 加えて、その恵寿グループの医療、介護、福 祉を複合的に展開するノウハウが加わる。そ れが一番の変化だと思います。

森田●職員にとっての大きな変化は、ほぼ全 員新病院にそのまま移行できたことです。旧 NTT 西日本金沢病院と董仙会は、同じ民間 病院でも組織の母体や運営形態は全く違いま す。NTTの場合、病院勤務であっても、2 ~3年おきの異動や転勤の対象になります。 再雇用になると一旦、NTT を退職して新病 院の業務オンリーになるわけです。なかには これを機に辞めるかもしれないし、給与や処 遇が変われば、別の病院に行く人もいるかも しれない。事務方としてそういうことを織り 込んで交渉しましたが、幸い全職員の99% が新病院に移行できました。

高堂●看護の現場を預かる立場として私も心 配しました。看護師は比較的、病院を変わる 人は少なくありません。30歳前後の若い看 護師は、組織に執着がなく、専門職としての 意識が強く、経営母体がかわれば自分もかわ る、という方は少なからずいて、それは仕方

がないと思ってはいま した。そのため、まず はここでの医療は変わ らないことをスタッフ

[看護部長] 高堂 祥子

たかどう しょうこ●看護師歴36年 1956年生まれ、石川県鳳珠郡能登町出身



にしっかり伝えました。給与や処遇について も、董仙会に配慮していただきました。結果 的に、ほぼ全員が移行でき、とても感謝して います。患者さんにも、このまま残ることを お伝えでき、本当に嬉しく思っています。

前多●これは以前から取り組んでいることで すが、健診や人間ドックが強い病院なので、 地域の、できるだけ多くの人に利用していた だけたらと思います。旧 NTT 西日本金沢病 院の患者さんもたくさんおられます。恵寿金 沢病院になっても引き続き来ていただくこと が大事です。これまでの健診結果を、ITを 活用して恵寿金沢病院でも一連のデータとし て管理できるようになれば、たとえば患者さ んは金沢ではなく、能登の空気や環境の違う ところで健診を受けることも可能です。そう いうことがあってもいいと思っています。

血液疾患から一般診療、 介護、福祉まで

Q3:新しい病院として、どんなイメージや特 徴を打ち出したいと思いますか?

上田●医療的には2点あります。一つは、血 液疾患に特化した病院であることを継続し、 強化し、発展させていくこと。血液病の患者 さんは合併症が多い。感染症にかかりやすく、 全身臓器に及びます。非常に重篤で、他の診 療科と連携してできるだけのケアをしないと いけません。県内で血液病のセンター的な役 割を果たせる医療機関は、私が知る限り当院 を含めて5か所しかありません。それも全部

> 金沢に集中していま す。血液関係の医師が

[事務長] 森田 均

もりた ひとし● 2012年事務長に就任 1958年生まれ、石川県河北郡津幡町出身



いても、標準治 療まですべてで きる病院は能登 や加賀地域には



ないのが現状です。能登・加賀の患者さんは 地元でなかなか治療が受けられず、金沢まで 出て行かないといけない。恵寿金沢病院に なっての大きな違いは、能登地域の患者さん の「途中ケア」を、連携面で強化される、恵 寿総合病院で引き受けることが可能になると いうことです。今まで遠くてなかなか金沢ま で行けなかった患者さんの選択肢が、一つ増 えたことは大きいと思います。2点目は、高 齢化により今後、高齢の血液病患者さんが増 えることが予想されます。病気のケアと同時 に、その人たちの人生をトータルでみていか なくてはならなくなります。そういう意味で は、医療、介護、福祉を含めた「けいじゅへ ルスケアシステム」の考え方は非常に大事に なると考えています。

高堂●看護も同じです。とくに、能登や加賀 の患者さんで金沢でしか治療が受けられない 場合は、自宅から遠いため、家族と離れての 入院生活はとても心細かったと思います。今 後は能登に恵寿総合病院がありますので、金 沢と協力、連携した医療や看護が提供できる ようになり、私たちにしかできない血液病患 者の看護ができるようになります。現場の看 護師にとっては、これまで以上に誇りをもっ てやることができると思っています。

地域医療、地域連携の要として

森田●健診や人間ドックのお話がありました

が、病院の知名度を上げることも含めて、もっ とアピールしてもいいと思います。NTT の 職員で現役の人は北陸に4000人くらいいま す。昨年、二か所だけですがインフルエンザ の予防接種を健康施策の一環として実施しま した。今年はほとんどインフルエンザにかか る人はいませんでした。予防の施策を今年も 続ける一方で、健診については、七尾に PET-CT があるので新しい医療が受けられる こともアピールできます。県外や遠方の人に は、人間ドックのオプションとして和倉温泉 での宿泊や観光などもご案内できます。健診 を受けた人は、仮に病気が見つかれば、かか りつけ医として当院を利用していただければ いい。ぜひ健診や予防にも強いことを地域の 人にも広く知っていただきたいと思います。 前多●病院が経営的にも良くなってほしいと 考えています。血液疾患に特化すると同時に、 地域の人には一般的な疾患、たとえば肺炎や けが、骨折などの診療もできることをぜひア ピールしたい。今後を考えると在宅医療や地 域包括ケアの一員として、地域との連携も重 要になります。当院でもソーシャルワーカー の増員を検討していますし、地域の医療機関 や開業医さん、介護施設、福祉施設など他職 種の皆さんとの連携も大事になります。そう いう地域連携の構築もしっかり支えていけれ ばと考えています。

上田●今の話に付け加えさせていただくと、 私たちは血液疾患の専門医ですが、全身の臓器を診てきていますし、重症患者さんや手術も数多く経験しています。糖尿病や肺炎や骨折などの一般的な疾患には十分、対応できますし、これまでもそういう患者さんはたくさん来られています。一般病院と同じように気軽に足を運んでいただければと思います。



Profile ~恵寿金沢病院の医師を紹介いたします~



- 1 血液内科、一般内科、輸血医療、HIV 感染症
- 2 金沢大学附属病院、石川県立中央病院などで、血液病や感染症患者さんの治療や内科全般の診療を34年続けてきました。今年の4月から当院で診療を継続させていただいています。これからは、「皆様に安心して診療を受けていただける病院」であることを常に心がけて前へ進みたく思います。ご質問やお気づきの点がございましたら、ご遠慮なくお申し出ください。よろしくお願いします。

内科 上田幹夫 (うえだ・みきお)

- 1 血液内科(造血器悪性腫瘍)
- 2 白血病や悪性リンパ腫をはじめとした血液がんの治療は様々な抗が ん剤を使用し、ときに骨髄移植も必要とします。専門性が高く先進 的な治療がいち早く臨床の現場に投入され、患者様のほとんどが大

学病院や総合病院で治療を受けています。当院は金沢大学附属病院血液内科との密接な連携により高度な診療を提供しつ、小規模病院ならではの温かな看護も両立してい場す。恵寿グループの一員となった当院をどうぞよろしくお願いします。

内科 村 田 了 一 (むらた・りょういち)



1 呼吸器内科、産業医、人間ドック

2 専門は呼吸器内科ですが、ベテランですので経験を生かして全人的に診療するよう心掛けています。 かかりつけ医としてもご利用ください。

内科 佐 賀 務 (さが・つとむ)



- 1 内科(血液内科)
- 2 血液内科を中心にした内科 診療を行っています。病院 を訪れる患者さんがよりよ い人生を送るためにお役に 立てるよう努力したいと思 います。

内科 三 浦 正 義 (みうら・まさよし)



- 1 血液疾患
- 2 分かり易い言葉での説明を 心がけ、出来るだけ多くの 治療選択肢を提供させて頂 きたいと思います。

内科 山下剛史 (やました・たけし)





- 1 内科(血液内科)
- 2 血液内科を中心とした内科診療を行っています。地域の皆様がよりよい生活を送るために、少しでもお役に立てるよう、精いっぱ

い務めさせて頂きたいと思います。血液内科領域の病気の場合、時に専門性の高い治療が必要となる場合もありますが、患者さん、ご家族、病院スタッフ皆で協力し、治療を進めていきたいと思います。お困りの事やお気づきの点がありましたら、気軽に声をかけて下さい。よろしくお願い致します。

内科 岩 城 憲 子 (いわき・のりこ)



- 1 整形外科 (上肢の疾患・スポーツ障害)
- 2 北陸では数少ない手外科専門医として、幅広い地域の方々の診療を行ってまいりました。四肢の痛みで長年お困りの方、ぜひご相談にお越し下さい!

整形外科・リウマチ科 横 山 光 輝 (ょこやま・かつてる)



- 1 整形外科
- 2 はじめまして!!整形外科の土屋と申します。丁寧に対応し、患者さんにとってもっともよい治療を行うことをモットーとしております。どうぞお気軽に話しかけてください。

整形外科・リウマチ科 土 屋 雅 信 (つちや・まさのぶ)



- 1 眼科
- 2 七尾には10年前にもお世話 になっておりますが、縁あっ て再び「恵寿」の名が付く病 院に勤めることになりました。 よろしくお願い致します。

眼科 繰納 勉 (そうのう・つとむ)



恵寿総合病院のいま

当院は、1934年「いつでも、誰でも、たやすく、安心して診療を受けられる病院にする」という創業精神にのっとり七尾市に設立されました。 能登地域の基幹病院として、診断・治療のトップランナーを目指しています。

高齢化の進む地域にあって、先端医療・急性期を中心に、医療・介護・福祉・保健の複合体グループ「けいじゅヘルスケアシステム」の要として、グループ全体として途切れのない医療~介護~福祉を、地域包括的に提供しています。







● 病院概要

設 立:1934年9月11日

診療科:外科・消化器外科・乳腺外科・内科・消化器内科・心臓血管外科・

24科 循環器内科・脳神経外科・神経内科・整形外科・呼吸器外科・

形成外科・美容外科・産婦人科・家庭医療科・緩和医療科・小児科・眼科・ 耳鼻咽喉科・泌尿器科・麻酔科・皮膚科・リハビリテーション科・放射線科

病床数:一般病棟 292 床・回復期リハビリテーション病棟 47 床・

426床 地域包括ケア病棟 47 床・障害者病棟 40 床

患者数: 1日平均外来数 790.8 人 (2013年度)

1日平均入院患者数 363.4 人 (2013 年度) 平均在院日数 (一般) 15.4 日 (2013 年度)

■ 脳卒中·循環器病

脳血管疾患・循環器疾患等に対して、外科治療および薬物・カテーテル治療を含めた内科治療を速やかに 安全に実施します。さらに早期からのリハビリテーショ

ンの部門にならいまで、その総を連携のします。



■がん治療

内科系・外科系・放射線治療・緩和ケアなどの医療 チームにより集学的治療を実施します。とくに内視鏡

手侵治にま来やを術のをっ。学んえよか積てま療サんえな極おた法ロまり、い的り外室ン



■ 家族みんなの医療センター (MCEF:エムセフ)

2014年4月、産婦人科、緩和医療科、家庭医療科が一つになり誕生したセンターです。当院を支えるすべての診療科と協力して、妊娠、出産、子供から老人まで、"家族みんなの健康"への取り組みの維持・発展に貢献していきたいと考えています。



■ けいじゅサービスセンター

地域連携、医療福祉相談、そしてけいじゅヘルスケアシステム全体の予約やスケジュール管理を行う電話センターとしてコールセンターが1か所に集まりサービスセンターとしての業務を行っています。



■高機能診断

地域唯一の PET-CT、地域最高スペックの 3 テスラ MRI、2 管球搭載型 128 列 CT、64 列 CT、血管造影・治療装置 (2 基)、最新の血液・尿検査システムなどを備え、とくにこのような高額医療機器は地域の医療機関と共同利用しています。



PET-CT



3 テスラ MRI

■救急医療

救急医療を 24 時間提供し、また屋上へリポートは救急搬送、災害時対応に供します。





■リハビリテーション

能登地区で唯一のリハビリ専門医と 63 名のリハビリ療法士が全科の外来・入院患者さんに必要なリハビリを提供しています。

脳卒中による片麻痺患者のリハビリには歩行分析、 治療的電気刺激や部分免荷などの先端機器も利用して います。脳卒中および、膝、股関節術後などのリハビ リはクリニカルパスにそって回復期リハビリ病棟(能 登で唯一)で365日休まずリハビリを施行しています。 病院で理学療法、作業療法、言語療法などのリハビリ 治療を急性期から回復期まで提供し、さらに訪問リハ ビリも行っています。

